



小山内 暢

放射線防護、放射線教育、
リスクコミュニケーション、
画像診断、被ばく医療

研究テーマ

医療分野の空間線量・個人線量評価、防護具の性能評価、放射線の可視化、画像診断での画質向上・被ばく低減、食品中の放射性物質の規制に関する研究など

研究室を目指す皆さんへ

放射線診療では、医療スタッフ自身が適切に自らを防護しながら、医療を提供する必要があります。そのときには、労力と効果のバランスを考えながら最適化をはかることも大切です。

また、原子力発電所事故や医療での放射線リスクに対する適切なマネジメントのためには、関係者間で相応しいコミュニケーションを取り共考することが望まれます。

これらの課題と一緒に取り組みましょう。